

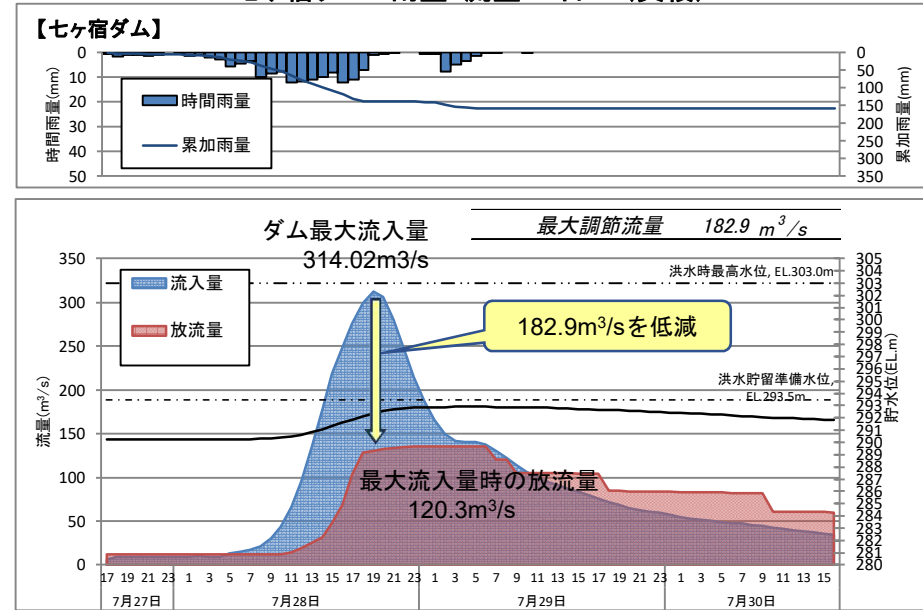
# 梅雨前線降雨における七ヶ宿ダムの効果（令和2年7月28日～29日）

- 7月28日からの梅雨前線による降雨により、七ヶ宿ダム上流域の平均累計雨量(27日13時～)は144.3mmに、**最大流入量は1秒間に314.02立方メートル（管理開始以降第14位・洪水期11位）、貯水位292.77mに達しました。**
  - 今回の出水においては、**ダム下流に流す水の量を最大流入量時約183m<sup>3</sup>/sの調節をおこない、下流の白石市内（白石水位観測所：同市半沢屋敷）で水位を0.50m低減したことにより、白石川の水位を低減させる効果**があったものと推測されます。
- ※七ヶ宿ダム 洪水期：6/10～10/10

## 【位置図】



## 七ヶ宿ダム 雨量・流量ハイドロ(実績)

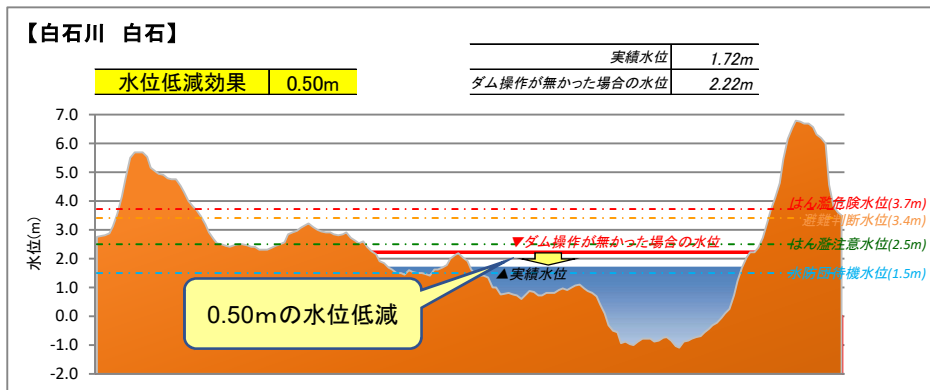


## 【ダム貯水池の出水状況】



## 【白石水位観測所】

(地先：宮城県白石市字半沢屋敷西138)



※流量は白石観測所のHQ式を適用し算出した。  
 ※横断面は観測所最近傍の河道断面を採用しました。